

改善計画書(兼改善状況確認書)

優先順位	改善項目		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(20年 6月 1日現在)
	自己	外部				
1	51.52	21	ご利用者お一人お一人の思いや希望、その人らしさに添った生活の支援を行う。	センター方式を活用して、スタッフ間の情報を統一し、ご利用者の願いや想いを知っていく。(C-1,D-1シート)	3ヶ月	センター方式のc-1シートへの書き込みをスタッフ全体で取り組み共有できたが、その時だけになっている。D-1シートは個人記録として活用できている。
				申し送り時には、センター方式のEシートを活用しつつ、ミニカンファレンスをもち、気づきを報告しあい、ご利用者に必要な支援を探り、ケアプランに落とし込んでいく。	3ヶ月	申し送りでの情報や気づきの報告はできている。そこから次のケアに繋がったり、ケアプランに落としこんでいくこともできているが、シートの活用はできず、申し送り帳の記入になっており漏れている情報もあるもでは。
2	59	24	ご利用者お一人お一人の生活歴を知り、ご利用者の力を活かし役割や楽しみごと、気晴らし等ができ、生き生きとした生活の支援を行う。	家事や食事、外出や入浴、排泄など生活していく場面の中で、ご利用者の力を引き出せる工夫をスタッフ間で行う。	6ヶ月	評価委員を立ち上げ自己評価をもとに生活を見直した。委員をスタッフに任せただので、より現場でできる具体的な生活への取り組みができた。(外出、入浴ご利用者の安全など)
				隣にある小規模多機能ホームや他のグループホームとも交流を持ち、ゲームや作品作りなど働きかける。	6ヶ月	行事や何かあれば交流はもてたがそれだけになってしまいがちだった。ただ、回数を重ねるうちにご利用者同士が話ししていたり、相談していたりと交流がもてた。時間をかけて関係をつくっていく。
3	5	3	地域活動のお手伝いや、地域の人と交流が持てるように働きかける。	だんだんかわら版を公民館や近隣に配り、ホームのことを少しでも知ってもらう機会をもつ。	年間通して	かわら版の発行がおくれてしまった。地域からのメッセージや家族の声をのせることができた。また公民館においてもらっている。
				地域行事への参加時などに地域の方に声をかけ関係をつくったり、お手伝いできないか問いかけていく。	年間通して	地域行事に参加できなかった。夏祭りには是非参加したい。
				運営推進会議を活用し、地域と交流をもっていく	年間通して	2ヶ月に1回開催できている。運営に関することや介護に関することいろんな立場での意見をもらうことができた。スタッフも参加するようになり、散歩時や来所時にも声をかけてもらえるようになった。
4	19	10	スタッフのチーム力の向上を図る。	月1回のホーム内での勉強会を計画的に行い、身体支援、家事支援、対人支援などの向上に努める。	年間通して	計画を立てて勉強会をすることができている。自己評価票で改善にあがったことをテーマにグループワークや講義などいろいろなやり方で向上に努めている。
				スタッフ一人一人は役割をもち、任せる場面を作りながら意識の向上につなげる。	年間通して	委員を立ち上げて、任せる場面をつくりサポートしている。